



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月15日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東
 コード番号 7800 URL https://www.amifa.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井愉三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 川上康夫 TEL 03 (6432) 9500
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の業績 (2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	2,939	—	329	—	334	—	209	—
2019年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	65.37	65.24
2019年9月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2019年9月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第2四半期の数値及び2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	3,074	2,201	71.6
2019年9月期	2,871	2,037	70.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 2,201百万円 2019年9月期 2,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,185	4.4	272	△17.5	271	△5.8	180	1.9	56.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響につきましては、現時点では算定が極めて困難なことから業績予想を据え置くこととし、2020年2月13日の公表値としております。

当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期の(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	3,225,000株	2019年9月期	3,200,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	—株	2019年9月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	3,206,421株	2019年9月期2Q	—株

(注)当社は、2019年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第2四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. 四半期財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期貸借対照表	2
(2) 四半期損益計算書	3
第2四半期累計期間	3
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	4
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年3月31日）におけるわが国経済は、相次ぐ台風による甚大な被害の発生、10月からの消費税増税等による消費マインドの冷え込み、米中間の貿易摩擦問題や中国経済の減速懸念等の世界経済に及ぼす影響、国際的な地政学的リスクの存在など先行き不透明な状況に加え、1月下旬に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、景況感が3月には大幅に悪化いたしました。

こうした中、当社は、ハロウィン、クリスマス、バレンタインデーに向けたシーズン商品を中心に、主要顧客である100円ショップ各社に向けてライフスタイル雑貨の販売に注力し、特に主要顧客への販売拡大に向けて、新企画や新商品の提案に積極的に取り組むとともに、原価低減に努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大については、当第2四半期会計期間（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）において商品の入荷が遅れる影響がありましたが、シーズン商品を含め販売はおおむね順調に推移し、業績に大きな影響はありませんでした。

これを受け、当第2四半期累計期間における当社のライフスタイル雑貨の商品群別累計売上高は、「ワンプライス商品」が2,707,061千円、「OEM商品」が176,415千円、「フルール商品」が55,055千円、「その他」が1,289千円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高2,939,822千円、営業利益329,568千円、経常利益334,482千円、四半期純利益209,603千円となりました。

なお、当社の事業は、ライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

また、当社は、前第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,904,356千円となり、前事業年度末に比べ202,787千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が670,536千円増加した一方、たな卸資産が470,526千円減少したことによるものであります。固定資産は169,808千円となり、前事業年度末に比べ237千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が7,182千円増加した一方、投資その他の資産が5,391千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,074,164千円となり、前事業年度末に比べ202,549千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は477,215千円となり、前事業年度末に比べ69,705千円増加しました。これは主に未払金が51,498千円、未払法人税が65,569千円増加した一方、賞与引当金が35,077千円減少したことによるものです。固定負債は395,074千円となり前事業年度末に比べ31,864千円減少しました。これは主に長期借入金35,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は872,289千円となり、前事業年度末に比べ37,840千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,201,874千円となり、前事業年度末に比べ164,709千円増加いたしました。これは主に四半期純利益209,603千円、配当金の支払い60,800千円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて0.7ポイント増加し、71.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大により4月7日緊急事態宣言がなされ、今後の進展が見通せない状況ですが、休業要請、外出自粛要請、経済の混乱、当社社員及び関係者の感染等が当社の事業活動に影響するリスクがあります。そのため、4月以降において当事業年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）の業績、財務状況に影響が発生する可能性があります。

しかし、現時点では、業績、財務に与える具体的な影響額を算定することが極めて困難であることから、当事業年度の業績予想を据え置くこととし、2020年2月13日公表値としております。

なお、業績への影響額の把握が可能となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,115,815	1,786,352
受取手形及び売掛金	379,624	374,297
電子記録債権	3,027	3,152
たな卸資産	1,163,425	692,898
その他	40,502	48,468
貸倒引当金	△825	△812
流動資産合計	2,701,568	2,904,356
固定資産		
有形固定資産	59,331	66,514
無形固定資産	30,759	28,730
投資その他の資産	79,955	74,563
固定資産合計	170,045	169,808
資産合計	2,871,614	3,074,164
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,862	34,980
1年内返済予定の長期借入金	88,132	70,000
未払金	160,489	211,987
未払法人税等	59,287	124,856
賞与引当金	48,381	13,303
その他	26,357	22,087
流動負債合計	407,510	477,215
固定負債		
長期借入金	157,500	122,500
退職給付引当金	15,104	18,239
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	426,939	395,074
負債合計	834,449	872,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,000	35,525
資本剰余金	268,248	271,773
利益剰余金	1,737,366	1,886,170
株主資本合計	2,037,614	2,193,468
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,295	1,197
繰延ヘッジ損益	△1,745	7,208
評価・換算差額等合計	△449	8,405
純資産合計	2,037,165	2,201,874
負債純資産合計	2,871,614	3,074,164

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	2,939,822
売上原価	1,635,999
売上総利益	1,303,823
販売費及び一般管理費	974,254
営業利益	329,568
営業外収益	
受取利息	111
受取配当金	31
為替差益	2,738
固定資産売却益	999
受取和解金	1,200
その他	514
営業外収益合計	5,596
営業外費用	
支払利息	682
営業外費用合計	682
経常利益	334,482
税引前四半期純利益	334,482
法人税等	124,878
四半期純利益	209,603

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	334,482
減価償却費	13,575
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△526
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,077
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,135
受取利息及び受取配当金	△142
支払利息	682
為替差損益 (△は益)	△2,671
受取和解金	△1,200
固定資産売却損益 (△は益)	△999
売上債権の増減額 (△は増加)	5,201
たな卸資産の増減額 (△は増加)	470,526
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,118
その他	57,917
小計	855,021
利息及び配当金の受取額	142
利息の支払額	△682
和解金の受取額	1,200
法人税等の支払額	△59,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	796,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△17,039
有形固定資産の売却による収入	1,000
無形固定資産の取得による支出	△5,771
その他	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△53,132
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,050
配当金の支払額	△60,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,671
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	670,536
現金及び現金同等物の期首残高	1,115,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,786,352

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。